

教科・分野	週時間数	クラス	生徒数	担当者
美術・工芸	1	A～D	36	寺尾 佳子
目 標	美術を鑑賞することと表現することで、美の本質を考え、その豊かさと楽しさに触れることで、創造力を育み、個性を伸ばすことを目標とする。			
大切に育てたいもの	<ol style="list-style-type: none"> 1. 造形的な創造活動の能力を伸ばすことを大切にしています。 2. 創造することの喜びを感じることを大切にしています。 3. 美術を愛好する心情を育んでいくことを大切にしています。 			

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期		デザイン 創作絵本をつくる (8P 中綴じ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. テーマとする言葉から、イメージを膨らませる。 2. アイデアスケッチを描いて、イメージを具体化できるようにする。 3. ページのレイアウトが決まったら、表現技法を工夫しながら手順にそって制作する。 4. 完成した作品を互いに鑑賞する。
二学期		絵画 模写「聖画を描く」	<ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教美術を鑑賞する。 2. 模写を通して聖画の意味や画家の意図するところを学ぶ。 3. 完成作品を展示して互いに鑑賞する。
三学期		染色 「エコバッグをつくる」	<ol style="list-style-type: none"> 1. 染色について学習し、その特徴を生かした図柄を考案する。 2. 染料の扱い方を身につける。 3. 染色の技法や手順を学び、協力して作業を行う。 4. 完成した作品を展示して互いに鑑賞する。
評 価 の 方 法		授業で制作した作品評価	
学習活動の特徴		市販品ではなく、オリジナルに開発した教材を使用している。	
授業の形態		スライドを使った作品鑑賞と実習授業	
使用教科書		高校美術1 日本文教出版	
使用副教材			
用意するもの		美術セットほか	
備 考			